

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-165769

(43)Date of publication of application : 16.06.2000

(51)Int.Cl.

H04N 5/445

H04H 1/00

H04J 3/00

H04N 5/00

H04N 5/44

(21)Application number : 10-335782

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 26.11.1998

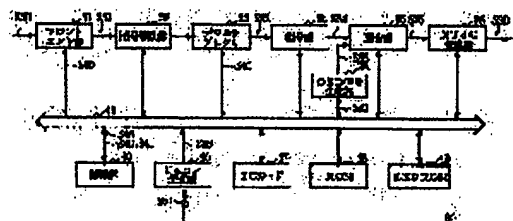
(72)Inventor : YOSHIMURA HIDEYUKI
MURAYAMA NAOKI

(54) METHOD FOR REGISTERING SELECTION CHANNEL AND RECEIVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a receiver for improving the operability of a desired registering operation in a simple constitution.

SOLUTION: This device is provided with channel selecting means 31 and 33 for selecting and tuning a desired channel from among plural channels by receiving broadcast waves on which the broadcast data of plural channels are multiplexed, a storing means 49 for storing a registration list in which plural desired channels are gathered, a channel designating operation inputting means K for executing a prescribed channel designating operation in a state that the desired channel is tuned, and a registration controlling means 4 for operating the registering processing or deleting processing of the channel which is being tuned at present for the registration list stored in the storing means when the channel designating operation is executed by the channel designating operation inputting means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-165769

(P2000-165769A)

(43)公開日 平成12年6月16日(2000.6.16)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
H 0 4 N 5/445		H 0 4 N 5/445	A 5 C 0 2 5
H 0 4 H 1/00		H 0 4 H 1/00	H 5 C 0 5 6
H 0 4 J 3/00		H 0 4 J 3/00	M 5 K 0 2 8
H 0 4 N 5/00		H 0 4 N 5/00	A
5/44		5/44	H
審査請求 未請求 請求項の数8 O L (全 9 頁)			

(21)出願番号 特願平10-335782

(22)出願日 平成10年11月26日(1998.11.26)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 吉村 秀之

東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー株式会社内

(72)発明者 村山 直樹

東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー株式会社内

(74)代理人 100082740

弁理士 田辺 恵基

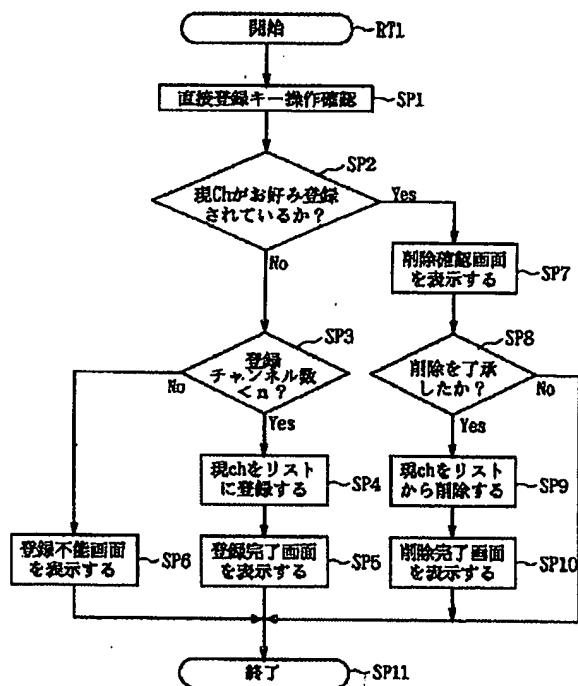
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 選択チャンネル登録方法及び受信装置

(57)【要約】

【課題】簡易な構成による、お好み登録操作の操作性を向上した受信装置を得る。

【解決手段】複数チャンネルの放送データが多重された放送波を受信して複数チャンネルの中から所望のチャンネルを選択して選局するチャンネル選択手段31及び33と、所望のチャンネルを複数集めた登録リストを記憶する記憶手段49と、所望のチャンネルを選局している状態で所定のチャンネル指定操作を行うチャンネル指定操作入力手段K15と、チャンネル指定操作入力手段によって上記チャンネル指定操作が行われたときに記憶手段に記憶されている登録リストに対して現在選局中のチャンネルの登録処理又は削除処理を行う登録制御手段40を設けた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】複数チャンネルの放送データが多重された放送波を受信して上記複数チャンネルの中から所望のチャンネルを選択して選局し、

上記所望のチャンネルを選局している状態で所定のチャンネル指定操作が行われたときに、所望のチャンネルを複数集めた登録リストに対して、上記選局中の上記チャンネルの登録処理又は削除処理を行うことを特徴とする選択チャンネル登録方法。

【請求項2】上記チャンネル指定操作は、一回の指定操作であることを特徴とする請求項1に記載の選択チャンネル登録方法。

【請求項3】上記選択チャンネル登録方法は、上記登録処理又は上記削除処理を行う際に、上記登録処理又は上記削除処理を行うチャンネル番号を所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項1に記載の選択チャンネル登録方法。

【請求項4】上記選択チャンネル登録方法は、上記登録処理又は上記削除処理を行った場合に、上記登録処理又は上記削除処理の遂行通知を上記所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項1に記載の選択チャンネル登録方法。

【請求項5】複数チャンネルの放送データが多重された放送波を受信して上記複数チャンネルの中から所望のチャンネルを選択して選局するチャンネル選択手段と、上記所望のチャンネルを複数集めた登録リストを記憶する記憶手段と、

上記所望のチャンネルを選局している状態で所定のチャンネル指定操作を行うチャンネル指定操作入力手段と、上記チャンネル指定操作入力手段によって上記チャンネル指定操作が行われたときに、上記記憶手段に記憶されている上記登録リストに対して、現在選局中のチャンネルの登録処理又は削除処理を行う登録制御手段とを具備することを特徴とする受信装置。

【請求項6】上記チャンネル指定操作は、一回の指定動作であることを特徴とする請求項5に記載の受信装置。

【請求項7】上記登録制御手段は、上記登録処理又は上記削除処理を行う際に、上記登録処理又は上記削除処理を行うチャンネル番号を所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項5に記載の受信装置。

【請求項8】上記登録制御手段は、上記登録処理又は上記削除処理を行った場合に、上記登録処理又は上記削除処理の遂行通知を所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項5に記載の受信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は選択チャンネル登録方法及び受信装置に関し、例えば通信衛星を介して配信されるデジタル衛星放送を受信する受信装置に適用し

【0002】

【従来の技術】従来、映像信号をデジタル化し衛星を介して放送するデジタル衛星放送システムが開始されている。かかるデジタル衛星放送システムは、送信側において複数チャンネルの映像信号をそれぞれMPEG (Moving Picture Experts Group) 2方式を用いて圧縮符号化した後に多重化し、放送衛星を介して送信する。そして受信側において放送波をIRD (Integrated Receiver Decoder) と呼ばれる受信復号装置を用いて受信するようになっている。

【0003】かかるデジタル衛星放送システムにおいては、100～200チャンネルにも及ぶチャンネルが配信される。このような多チャンネルの中からユーザが所望のチャンネルを迅速に選局するのは困難であるため、IRDが有する所定のリストにユーザが所望の任意のチャンネルを予め登録しておき、ユーザはこのリスト（以下、これをお好みリストと呼ぶ）を用いて選局する、いわゆるお好みチャンネルと呼ばれる機能が存在する。

【0004】図9はお好みチャンネル機能における、ユーザが任意のチャンネルをお好みリストに登録する場合に用いるお好み登録画面100の例を示し、モニタ（図示せず）の画面中央に20個（縦4個×横5個）のチャンネルアイコン101を有する表示ページ105が表示されている。チャンネルアイコン101はそれぞれデジタル衛星放送システムが配信するチャンネルに対応しており、各チャンネルアイコン101にはそれぞれチャンネル番号101A、チャンネルのロゴマーク101B及びお好み登録チェックボックス101Cが設けられている。

【0005】お好み登録画面100は複数の表示ページ105を有しており、図9に示す表示ページ105では第100チャンネル～第119チャンネルの計20チャンネル分のチャンネルアイコン101が表示されているが、他のページではこれ以外のチャンネルアイコン101が表示される。ユーザはIRDのリモートコマンド（図示せず）を操作し、所望のチャンネルのチャンネルアイコン101を含む表示ページ105を呼び出すことができるようになっている。ユーザはリモートコマンドを操作して所望のチャンネルのお好み登録チェックボックス101Cにチェックマーク101Dを付加することにより、チャンネル番号101Aが示すチャンネルをお好みリストに登録する。

【0006】図10はお好みチャンネル機能における、ユーザがお好みリストに登録されているチャンネルを選局する場合に用いるお好み一覧画面110の表示状態を示し、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、5個のお好みチャンネルアイコン111を有するお好み一覧画面110が表示されている。画面右上には、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、5個のお好みチャンネルアイコン111を有するお好み一覧画面110が表示されている。画面右上には、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、5個のお好みチャンネルアイコン111を有するお好み一覧画面110が表示されている。

及びチャンネルのロゴマーク１８０Ｂが表示されている。ここでは、デジタル衛星放送システムが配信するチャンネルの映像を一覧表示するプロモーションチャンネル（第２０１チャンネル）が選局されている。

【０００７】各お好みチャンネルアイコン１１１はそれぞれチャンネル番号１１１Ａ及びチャンネルのロゴマーク１１１Ｂを有している。ここに表示されているチャンネルは、お好みリストに登録されているチャンネルすなわちお好み登録画面（図９）においてチェックマーク１０１Ｄが付加されたチャンネルである。ユーザはリモートコマンドを用いてお好み一覧画面を呼び出し、所望のチャンネルのお好みチャンネルアイコン１１１を指定することにより、容易に選局を行うことができる。

【０００８】

【発明が解決しようとする課題】ところで、かかるお好み登録機能において現在選局中のチャンネルをお好み登録しようとする場合、ユーザはまずリモートコマンドのメニューキー（図示せず）を操作してメニュー画面（図示せず）を呼び出し、さらにメニュー画面からお好み登録画面１００（図９）を呼び出す。そして当該お好み登録画面１００においてお好み登録しようとするチャンネルを含む表示ページ１０５を呼び出し、当該呼び出した表示ページ１０５においてお好み登録しようとするチャンネルのお好み登録チェックボックス１０１Ｃにチェックマーク１０１Ｄを付加することによりお好み登録が完了する。

【０００９】このように、お好み登録を行うためには「メニュー画面呼び出し」「お好み登録画面呼び出し」「目的のチャンネルを含むページ呼び出し」「お好み登録」といった４ステップに及ぶ操作が必要であり、現在選局中のチャンネルを即座にお好み登録できないとともに、ユーザはかかる操作の間、お好み登録しようとするチャンネルのチャンネル番号を記憶している必要があり、お好み登録操作が煩雑であるという問題を有していた。

【００１０】本発明は以上の点を考慮してなされたもので、お好み登録操作の操作性を向上した選択チャンネル登録方法及び受信装置を提案しようとするものである。

【００１１】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するため本発明においては、複数チャンネルの放送データが多重された放送波を受信して複数チャンネルの中から所望のチャンネルを選択して選局するチャンネル選択手段と、所望のチャンネルを複数集めた登録リストを記憶する記憶手段と、所望のチャンネルを選局している状態で所定のチャンネル指定操作を行うチャンネル指定操作入力手段と、チャンネル指定操作入力手段によって上記チャンネル指定操作が行われたときに記憶手段に記憶されている登録リストに対して現在選局中のチャンネルの登

【００１２】チャンネル指定操作入力手段を用いて現在選局中のチャンネルを直接登録リストに登録することにより、お好み登録操作の操作性を向上することができる。

【００１３】

【発明の実施の形態】以下図面について本発明の一実施の形態を詳述する。

【００１４】（１）デジタル衛星放送システムの全体構成

図１において１は全体としてデジタル衛星放送システムを示し、送信装置１０は、外部から供給される複数チャンネルの映像信号をそれぞれＭＰＥＧ（Moving Picture Experts Group）２方式で圧縮符号化した後パケット化して多重する。そしてこのパケットを連ねてなるトランスポートストリームを変調し、放送波Ｓ１０として送信アンテナ１５を介して放送衛星２０に送信する。放送衛星２０は、複数の送信装置１０から送信される放送波Ｓ１０をそれぞれ複数のトランスポンダ（図示せず）で受信した後増幅し、それぞれを放送波Ｓ２０として再送信する。

【００１５】受信装置としてのＩＲＤ（Integrated Receiver Decoder：受信復号装置）３０は、放送波Ｓ２０を受信アンテナ２５を介して受信し、放送波Ｓ２０に多重化されている複数のチャンネルのうち、ユーザがリモートコマンド５０を操作することにより選局したチャンネルを復号して映像信号Ｓ３０を生成し、これをモニタ８０が有する表示部８５に表示する。

【００１６】（２）リモートコマンド操作部の構成

図２はリモートコマンド５０の操作部５１を示し、ＩＲＤ３０及びモニタ８０の電源をそれぞれオン又はオフするための電源キーＫ１及びテレビ電源キーＫ２と、音声を消音又は消音解除するための消音キーＫ３と、モニタ８０の入力系統を切り換えるための入力切換キーＫ４と、モニタ８０の受信チャンネル（地上波テレビジョン）を選局するためのテレビチャンネルアップダウンキーＫ５と、放送サービス事業者を選択するための衛星選択キーＫ６と、０～９の各数字が表示され当該表示された数字を入力するためのテンキーＫ７と、現在受信中のチャンネル番号やステーションロゴをモニタ８０の表示部８５に表示又は表示消去するための画面表示キーＫ８と、現在モニタ８０に表示されている映像を静止して表示又は静止表示を解除するためのスチルキーＫ９と、ＩＲＤ３０の各種設定等を行うメニュー画面をモニタ８０に表示させるためのメニューキーＫ１０が設けられている。

【００１７】さらに操作部５１には、モニタ８０にデジタル衛星放送システム１が配信する各チャンネルの番組内容説明を表示又は表示消去させるための番組説明キーＫ１１と、デジタル衛星放送システム１が配信する

ンネルを表示又は表示消去させるためのプロモキーK12と、お好みリストに登録されているチャンネルを一覧表示するためのお好み一覧キーK13と、2カ国語放送または多重放送の番組においてモニター80から出力する音声の主音声、副音声又は主+副音声に切り換えるための二重音声キーK14と、現在選局中のチャンネルをお好みリストに直接登録または登録削除するためのチャンネル指定操作入力手段としての直接登録キーK15と、ユーザがIRD30に選局予約した番組を一覧表示させるための予約一覧キーK16と、衛星テレビジョン放送と衛星ラジオ放送とを切り換えるためのラジオ切換キーK17が設けられている。

【0018】さらに操作部51には、現在選局しているチャンネルについての各種データを表示又は表示消去させるための現在番組表キーK18と、日付を入力するための日付キーK19と、一週間の番組表を表示又は表示消去させるための週間番組表キーK20と、番組ジャンル別の番組表を表示又は表示消去させるためのジャンルキーK21と、モニター80の表示部85に表示されているカーソルを上下左右に移動させるためのカーソルキーK22と、音量又はチャンネル番号を増減する音量アップダウンキーK23及びチャンネルアップダウンキーK24が設けられている。

【0019】ユーザが操作部51のいずれかの操作キーを操作すると、リモートコマンド50(図1)は当該操作に応じた命令信号S50を赤外光に重畳してIRD30に送信する。

【0020】(3)IRDの構成

図3は全体としてIRD30を示し、リモコン受光部46は命令信号S50を重畳した赤外光を受光して電気信号に変換し、これを命令信号S46としてバス45を介して制御部40に送出する。制御部40は命令信号S46に応じて、ROM48に記憶されている制御プログラムに基づいて種々の処理を実行する。例えばユーザがチャンネルアップダウンキーK24(図2)又はテンキーK7(図2)を操作して受信チャンネルを選局すると、制御部40はこれに応じてチャンネル選択信号S40をフロントエンド部31に供給する。

【0021】チャンネル選択手段としてのフロントエンド部31は、チャンネル選択信号S40に応じて動作し、選局されたチャンネルを含む放送波S20を復調してトランスポートストリームS31を生成しこれを暗号解除部32に供給する。暗号解除部32は、ICカード47に記憶されている暗号キー情報を読み出し、当該暗号キー情報に基づいてトランスポートストリームS31を暗号解除してデマルチプレクサ33に供給する。

【0022】チャンネル選択手段としてのデマルチプレクサ33は、制御部40から供給されるチャンネル選択信号S40に応じてユーザが選局したチャンネルのパケ

れをパケットデータS33として復号部34に供給する。復号部35は、パケットデータS33をMPEG2方式によって復号して映像データS34を生成し、これを混合部35に出力する。

【0023】ここで制御部40はリモコン受光部46から供給される命令信号S46に応じて動作し、OSD(On Screen Display)画面の生成を指示するOSD生成指示信号S41をOSD信号生成部38に出力する。OSD信号生成部38はOSD生成指示信号S41に応じて動作し、OSDデータS38を生成して混合部35に出力する。

【0024】混合部35は、OSDデータS38及び映像データS34を混合し、これを混合映像データS35としてNTSC(National Television System Committee)変換部36に出力する。NTSC変換部36は、混合映像データS35をNTSC信号に変換し、これを映像信号S30としてモニター80(図1)に出力する。

【0025】またユーザが直接登録キーK15(図2)を操作すると、かかる操作に応じて登録制御手段としての制御部40は後述するお好み直接登録処理を実行し、現在選局中のチャンネルを記憶手段としてのEEPROM(Electrically Erasable & Programmable ROM)49に記憶されているお好みリストに登録する。

【0026】(4)お好み直接登録処理図4はお好み直接登録処理を示し、IRD30が有する制御部40はRT1の開始ステップから入ってステップSP1に移る。ステップSP1において制御部40は、直接登録キーK15が操作された事を確認すると次のステップSP2に移る。

【0027】ステップSP2において制御部40は、EEPROM44からお好みリストを読み出し、現在選局中のチャンネルがお好みリストに登録されているか否かを判断する。ステップSP2において否定結果が得られた場合、このことは現在選局中のチャンネルがお好みリストに登録されていないことを表しており、制御部40はステップSP3に移る。

【0028】ステップSP3において制御部40は、お好みリストに登録されているチャンネル数が所定の登録可能数n未満であるか否かを判断する。ステップSP3において肯定結果が得られた場合、このことはお好みリストに登録されているチャンネル数が登録可能数n未満であること、すなわち現在選局中のチャンネルをお好みリストに登録可能であることを表しており、制御部40はステップSP4に移る。

【0029】ステップSP4において制御部40は、現在選局中のチャンネルをお好みリストに登録する。続くステップSP5において、制御部40はOSD信号生成部38に対して登録完了画面の生成を指示するOSD生成指示信号S41を出力する。当該OSD信号生成部3

OSDデータS38を生成してこれを混合部35に出力し、当該混合部35はOSDデータS38及び映像データS34を混合し、放送映像に登録完了画面を合成してなる混合映像データS35を生成する。

【0030】図5は登録完了画面120の表示状態を示し、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、お好み登録が完了したことを示す「このチャンネルをお好み登録しました」と書かれた文字T1を有する登録完了画面120が表示されている。画面右上には現在選局中のチャンネルのチャンネル番号180A及びチャンネルのロゴマーク180Bが表示されており、お好み登録したチャンネル番号をユーザが判別できるようになされている。ここでは、ディジタル衛星放送システムが配信するチャンネルの映像を一覧表示するプロモーションチャンネル（第201チャンネル）が選局されている。

【0031】これに対してステップSP3において否定結果が得られた場合、このことはお好みリストに登録されているチャンネル数が登録可能数n未満ではないこと、すなわちお好みリストが一杯であり現在選局中のチャンネルをお好みリストに登録できないことを表しており、制御部40はステップSP6に移る。

【0032】ステップSP7において制御部40は、OSD信号生成部45に対して登録不能画面の生成を指示するOSD生成指示信号S41を出力する。図6は登録不能画面130の表示状態を示し、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、お好みリストが一杯であることを示す「お好み登録数がいっぱいです」と書かれた文字T2を有する登録不能画面130が表示されている。制御部40はステップSP11に移り、処理を終了する。

【0033】またステップSP2において否定結果が得られた場合、このことは現在選局中のチャンネルがすでにお好みリストに登録されていることを表しており、制御部40はステップSP7に移る。

【0034】ステップSP7において制御部40は、OSD信号生成部45に対して、削除確認画面の生成を指示するOSD生成指示信号S41を出力する。図7は削除確認画面140の表示状態を示し、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、現在選局中のチャンネルをお好み登録から削除することの良否を問う

「このチャンネルを削除しますか？」と書かれた文字T3、削除を了承する「はい」のチェックボックスB1及び削除を拒否する「いいえ」のチェックボックスB2を有する削除確認画面140が表示されている。画面右上には現在選局中のチャンネルのチャンネル番号180A及びチャンネルのロゴマーク180Bが表示されており、お好み登録から削除しようとするチャンネル番号をユーザが判別できるようになされている。ユーザは削除確認画面において、リモートコマンド50のカーソルを

一K22（図2）を操作して「はい」又は「いいえ」のいずれかのチェックボックスをクリックし、削除の了承又は拒否を入力する。

【0035】ステップSP8において、制御部40はユーザが現在選局中のチャンネルをお好みリストから削除することを了承したか否かを、命令信号S46に基づいて判断する。ステップSP8において否定結果が得られた場合、このことはユーザが現在選局中のチャンネルをお好みリストから削除することを拒否したことを表しており、制御部40は現在選局中のチャンネルをお好みリストから削除せず、ステップSP11に移り処理を終了する。

【0036】一方ステップSP8において肯定結果が得られた場合、このことはユーザが現在受信中のチャンネルをお好みリストから削除することを了承したことを表しており、制御部40はステップSP9に進む。そしてステップSP9において、制御部40は現在選局中のチャンネルをお好みリストから削除し、ステップSP10に移る。

【0037】ステップSP10において、制御部40はOSD信号生成部45に対して削除完了画面の生成を指示するOSD生成指示信号S41を出力する。図8は削除完了画面150の表示状態を示し、現在選局中のチャンネルの放送映像180の画面下部に、現在選局中のチャンネルをお好みリストから削除したことを示す「このチャンネルをお好み登録から削除しました」と書かれた文字T4を有する削除完了画面150が表示されている。画面右上には現在選局中のチャンネルのチャンネル番号180A及びチャンネルのロゴマーク180Bが表示されており、お好み登録から削除したチャンネル番号をユーザが判別できるようになされている。制御部40はステップSP11に移り、処理を終了する。

【0038】かくしてIRD30は、ユーザによる直接登録キーK15の操作に応じて、現在選局中のチャンネルをお好みリストに登録又は削除する。またIRD30は、ユーザによるメニューキーK10（図2）の操作に応じて、従来のお好み登録画面を用いてお好み登録を行い得るようになされている。

【0039】このようにして登録されたお好みチャンネルは、従来のように、ユーザがお好み一覧キーK13（図2）を操作することにより呼び出されるお好み一覧画面から直接選局することができる。

【0040】（5）動作及び効果

以上の構成において、現在選局中のチャンネルをIRD30にお好み登録しようとした場合、ユーザはお好み登録画面に移行することなく、現在選局中のチャンネルを見ながらリモートコマンド50の直接登録キーK15を操作する。IRD30が有する制御部40は、直接登録キーK15の操作を示す命令信号S46に応じて動作し、現在選局中のチャンネルをFIFOメモリ40に記憶

されているお好みリストに登録する。

【0041】かくして以上の構成によれば、ユーザはリモートコマンド50の直接登録キーK15を操作することにより現在選局中のチャンネルを直接お好みリストに登録することができ、これによりお好み登録を容易に行うことができる。

【0042】なお上述の実施の形態においては、お好みリストが一杯の状態においてお好み登録を行おうとした場合、図6に示す登録不能画面を表示してお好み登録を中止するようにしたが、本発明はこれに限らず、お好みリストに登録されているチャンネルのいずれかを削除した後、現在選局中のチャンネルをお好みリストに登録するようにしても良い。この場合、お好みリストに登録されているチャンネルを一覧表示し、この一覧表示の中からユーザに登録削除するチャンネルを選択させるようにすることにより、より一層操作性を高めることができる。

【0043】また上述の実施の形態においては、直接登録キーK15をリモートコマンド50に設けたが、本発明はこれに限らず、直接登録キーK15をIRD30のフロントパネル等に設けるようにしても良い。

【0044】さらに上述の実施の形態においては、デジタル衛星放送を受信するデジタル放送受信機に本発明を適用する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えばデジタル地上波放送やデジタル有線放送等、様々なデジタル放送を受信するデジタル放送受信機に本発明を適用しても良い。

【0045】さらに上述の実施の形態においては、映像信号を圧縮符号化して送信するデジタル衛星放送システムに本発明を適用する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば音声信号を圧縮符号化して送信するデジタルラジオ放送等、様々なデジタル放送を受信するデジタル放送受信機に本発明を適用しても良

い。

【0046】

【発明の効果】上述のように本発明によれば、現在選局中のチャンネルをお好みリストに登録する際、メニュー画面等を介することなく登録することができ、お好み登録操作の操作性を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】デジタル衛星放送システムを示すブロック図である。

【図2】本発明の一実施の形態によるリモートコマンドの操作部を示す略線図である。

【図3】本発明の一実施の形態によるIRDの構成を示すブロック図である。

【図4】お好み直接登録処理を示すフローチャートである。

【図5】登録完了画面を示す略線図である。

【図6】登録不能画面を示す略線図である。

【図7】削除確認画面を示す略線図である。

【図8】削除完了画面を示す略線図である。

【図9】お好み登録画面を示す略線図である。

【図10】お好み一覧画面を示す略線図である。

【符号の説明】

1……デジタル衛星放送システム、10……送信装置、15……送信アンテナ、20……放送衛星、25……受信アンテナ、30……IRD、31……フロントエンド部、32……暗号解除部、33……デマルチプレクサ、34……復号部、35……混合部、36……NTSC変換部、38……OSD信号生成部、40……制御部、45……バス、46……リモコン受光部、47……ICカード、48……ROM、49……EEPROM、50……リモートコマンド、51……操作部、80……モニタ、85……表示部。

【図1】

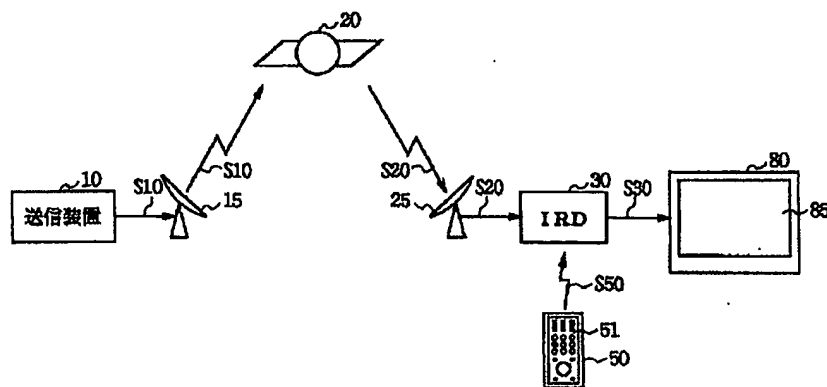


図1 デジタル衛星放送システム

【図2】

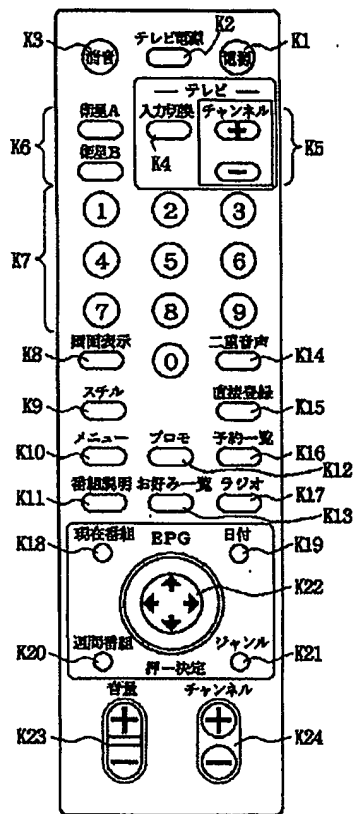


図2 本発明によるリモートコマンド操作部

【図4】

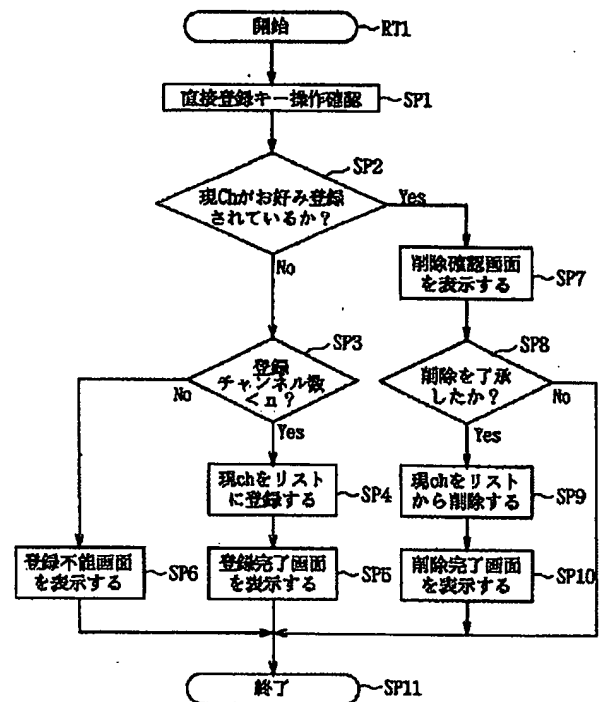


図4 お好み直接登録処理

【図3】

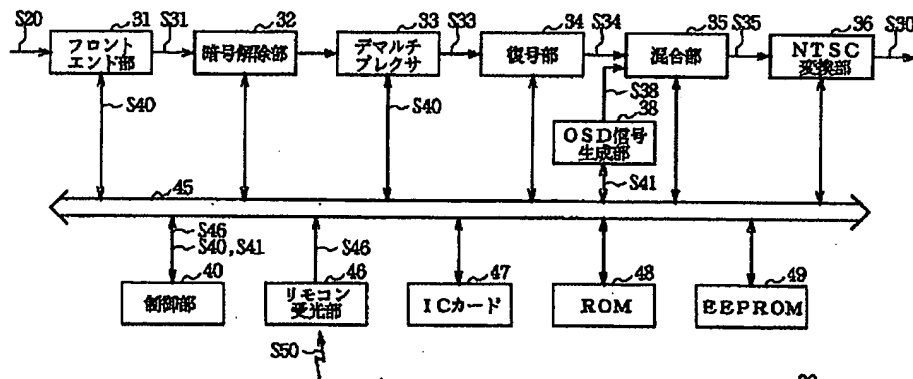


図3 本発明によるIRD

【図5】

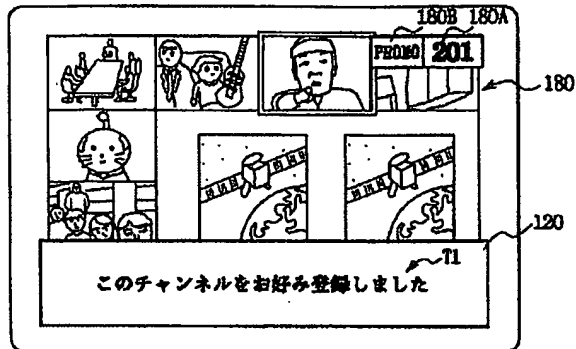


図5 登録完了画面

【図6】

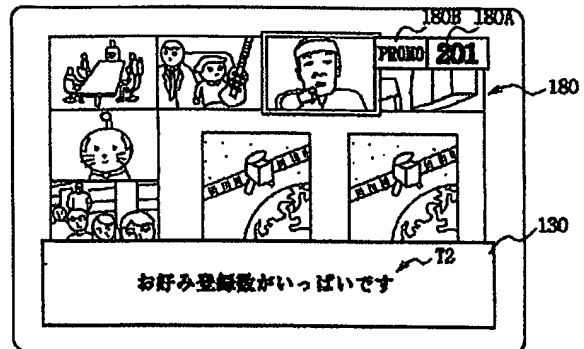


図6 登録不能画面

【図7】

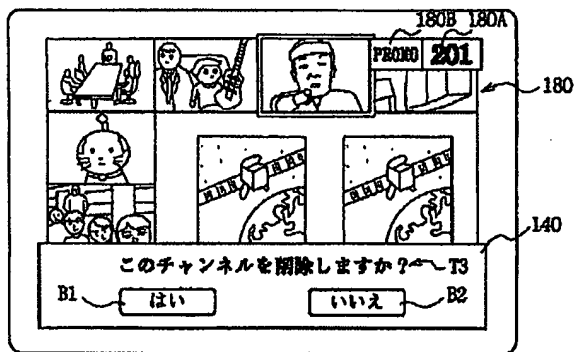


図7 削除確認画面

【図8】

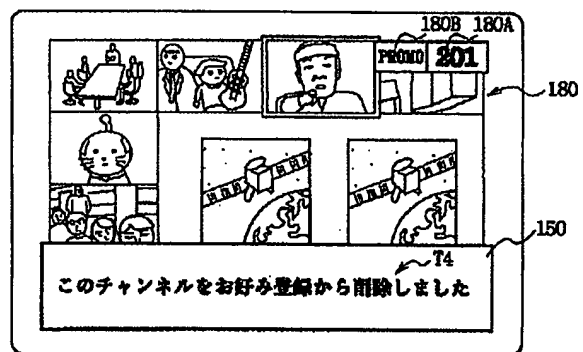


図8 削除完了画面

【図9】

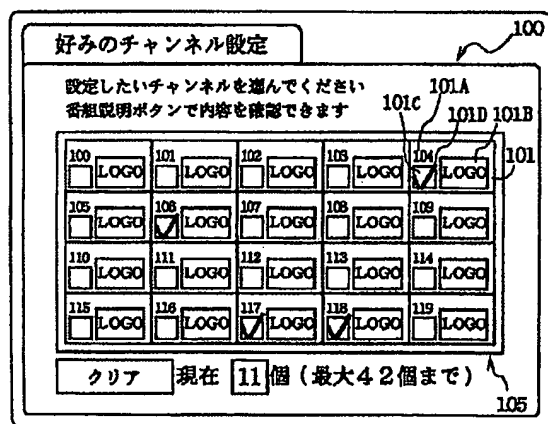


図9 お好み登録画面

【図10】

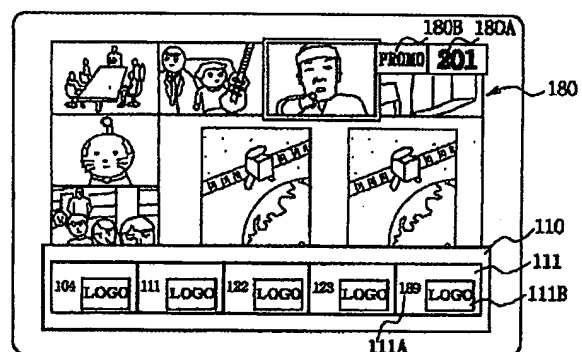


図10 お好み一覧画面

フロントページの続き

Fターム(参考) 5C025 AA23 CB05 DA05
5C056 AA05 BA02 EA06 FA11
5K028 AA00 BB05 CC05 DD01 DD02
EE03 KK23 KK32 SS24